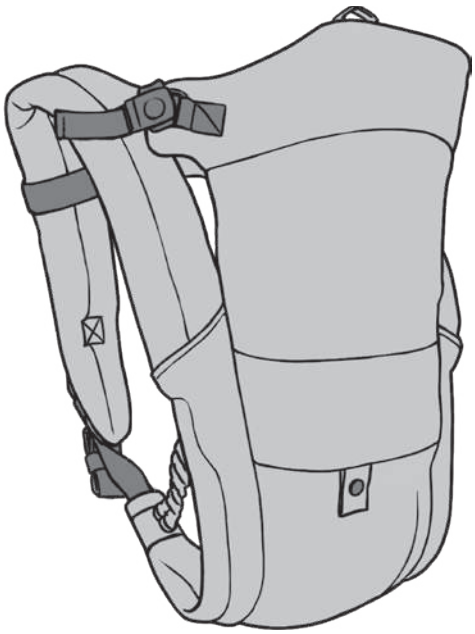
buddy buddy（バディバディ）

取扱説明書

4WAY Carrier Cool Mesh

4ウェイ キャリア クール メッシュ



使用できるお子さまの月齢

※お子さまの発育により、同じ月齢でも体格や体重には個人差があります。
※使用者の対応ウエストサイズ58㎝～100cm（身長や体型によっては装着できない場合があります。）

よこ抱っこ	生後10日～首がすわる乳児期（4ヵ月頃/体重8kg）まで
おんぶ&たて抱っこ対面	首がすわった乳児期（4ヵ月頃）～24ヵ月（体重13kg）まで
たて抱っこ前向き	腰がすわった乳児期（7ヵ月頃）～24ヵ月（体重13kg）まで

この度は本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

抱っこひもの耐用年数は、購入日より3年間となります。

3年以上ご使用の場合、生地などの経年劣化により本来の性能を果せず危険をまねくおそれがあります。ご使用をお控えください。

ご使用の前に本書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

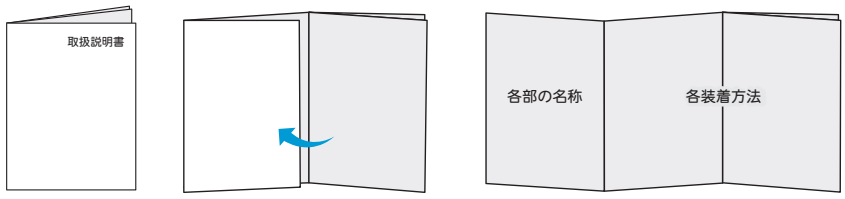
また**取扱説明書は大切に保管してください。**

本品を他の方にお譲りになるときには、必ず取扱説明書もあわせてお渡しください。

目　次

使用できるお子さまの月齢 …… 表紙
各部の名称 …… P1
安全にお使いいただくために …… P2
お手入れ方法 …… P3
品質保証（アフターフォロー）について …… P3
SGマーク制度について …… P3
よこ抱っこ …… P4・P5
たて抱っこ対面① …… P6・P7
たて抱っこ対面② …… P8・P9
たて抱っこ前向き …… P10・P11
おんぶ …… P12・P13
ベルト類の調節方法 …… P14
コンパクトにまとめる方法 …… P15

取扱説明書の便利な使い方



表紙

各部の名称と各装着方法が見開きでご覧いただけます。

※このページを常に開いて取扱説明書をご覧ください。

各部の名称

プロテクトサポート

腕ぐり

セーフティボード
ポケット

ショルダーベルト

フィットベルト

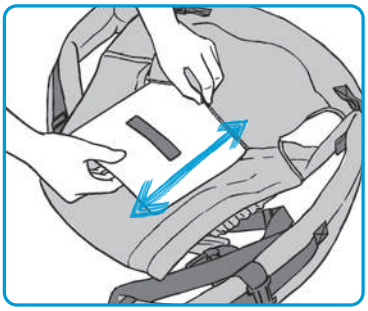
フロントループ

セーフティベルト

足ぐり

ゴムバンド

アジャスター



セーフティボードの使い方

抱き方に応じて着脱してお使いください。

バックルの使用上の注意

- バックルを使用する際は、必ずカチッと音がするまで挿し込んだことを確認してください。
- 正しく挿し込まれていない状態で使用しますと、使用中バックルが外れ、お子さまの落下事故につながるおそれがあります。
- バックルを挿し込んだ際に、生地等異物を挟んでいないことを確認してください。

安全にお使いいただくために

**安全にお使いいただくために、使用前に必ず
取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。**

⚠ 警告

**誤った取り扱いをすると、人が死亡または
重傷を負う可能性が想定される内容を示します。**

●お子さまが開口部から落下するおそれがあります。身体を傾ける際には、お子さまが落下しないよう手で支えてください。また、頭が下向きにならないよう腰を曲げるのではなく、膝を曲げるようにしてください。

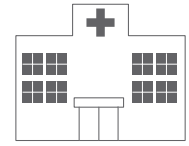
●正しく調整し、バックルなどの固定箇所を確実に締めてください。お子さまが落下するおそれがあります。

●使用中に大きく前かがみしないでください。お子さまが滑り落ちる可能性があります。

●よこ抱っこ時は、お子さまを必ず手で支えて使用してください。ハンモック状態のため、側方傾斜時にお子さまの頭が下になったり、前傾時に使用者の身体から離れた状態になります。
●よこ抱っこ（首のすわらない乳児）の使用時には、必ずセーフティボードを使用してください。

●生後4ヵ月未満の乳児は保護者の身体に顔を強く押し当てられると窒息するおそれがあります。
●乳幼児を保護者の身体に強く縛り付けずに、頭部を動かす余裕があるように装着してください。
●お子さまの気道をふさぐことがないなど、状態に注意しながら使用してください。

●早産児及び呼吸器疾患等のあるお子さまへは使用しないでください。ご使用については医師に相談してください。



⚠ 注意

**誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、
物的損害が生じる可能性が想定される内容を示します。**

●着脱時は、可能な限り低い姿勢や安全な場所で行うようにしてください。他の人に介添えいただくとより安全です。

●おんぶ時は、目が届きにくくなりますので、特に注意してください。

●お子さまがそり返ったり、動いて安定しない場合は使用しないでください。

●使用前にバックルなど固定部が確実にとめられていることを確認してください。特に背中のバックルについては、バックルがとまっているか、必ず確認してください。
●装着後も緩みがないかを確認してください。

●使用前には、やぶれ、ほつれ、傷、バックルや掛具など破損していないか確認してください。また、破損している場合は使用しないでください。

●抱っこ時は、お子さまの頭で前方、特に足元の視界が妨げられないよう装着し、歩行時も注意してください。

●バックルや掛具の開口部またはすき間にお子さまの手指を入れないように注意してください。すき間に指が入って抜けなくなったり、傷害の危険性があります。未使用時には、バックルを差し込んで保管してください。

●授乳後30分間位はおなかを圧迫することがあり、消化吸収を助けるために、使用しないでください。
●連続して使用する時は、体調の変化や装着状況を確認する必要があるため、2時間以下の使用にしてください。
●体調がすぐれない時や、身体に痛みを感じる時は、使用しないでください。

●飛行機、車、自転車、バイクでは使用しないでください。

●思わぬ事故につながる恐れがあるため、家事の際はおんぶで使用し、大きく前かがみしないよう注意してください。
また、火気の近くでの使用はしないでください。

●汗や水で湿った状態で強い摩擦をうけると、他に移染するおそれがあります。

●直射日光のあたる場所に保管しないでください。また車内など高温になりやすい場所での保管はしないでください。（劣化や変色することがあります）

お手入れ方法

洗濯についてのご注意

●洗濯については製品に縫い付けの組成表示ラベルをご参照ください。
●色落ちする場合がありますので、他の洗濯物とは別けて洗ってください。つけ置き洗いも避けてください。
●洗濯ネットに入れて洗ってください。バックルが付いている製品は、バックルをとめてネットに入れてください。
●軽い汚れの場合は、湿らせた布で汚れた部分をたたくようにして落としてください。
●漂白剤、蛍光増白剤入りの洗剤は使用しないでください。
●脱水機、乾燥機の使用はしないでください。樹脂部品が破損するおそれがあります。
●アイロンはあて布を使用してください。

点検について

●ご使用前に、バックルなどの樹脂部品が破損したり、ベルトや生地などに破れ、ほつれ、傷がないことを確認してください。
異常がある状態で使用すると、事故につながるおそれがあります。

品質保証(アフターフォロー)について

●使用方法などでご不明な点がございましたら遠慮なくご相談ください。
●お買い上げから1年間無料修理いたします。
●必ずお買い上げ日を証明できるもの(レシート・明細書等)を保管してください。
弊社までの送料はお客様負担となります。
初期不良・部品の欠品など弊社の責任によるものは弊社が負担いたします。
部品の在庫が無い場合は色や大きさがご希望に添えない場合がございます。

無料修理の対象外となる場合の内容

●お買い上げ日から1年以上過ぎた場合。
●お買い上げ日を証明できるもの(レシート・明細書等)がない場合。
●自然の消耗・サビ・カビ・変色・虫食い等の製品の劣化。
●お客様の故意・誤った使い方やお手入れ・改造による故障や損傷。
●火災や外部要因などによる故障や損傷。

アフターフォローの連絡先

[ラッキーサポートダイヤル] **TEL:0585-45-7425**
受付時間:9:00〜12:00　13:00〜17:00 (土、日、弊社定休日を除く)

ユーザー登録をしていただくと品質保障が2年延長

ユーザー登録をすると
通常1年の品質保証に2年プラスされ、
合計3年間の保障になります。
抱っこひも・おんぶひもが対象となります。

[通常] **1年間保証** → プラス2年 → [ユーザー登録] **3年間保証**

LUCKY industries
ユーザー登録は、こちらへ

SGマーク制度について

SGマークは、製品安全協会が定めるSG基準に適合するものとして認証された製品に表示される安全・安心マークです。
SGマーク付きの製品の欠陥により、人身被害が生じたと認められる場合、製品安全協会が事故原因、被害の程度などに応じて、賠償措置を実施する制度です。抱っこひもの場合は、購入日より3年間となります。

賠償についてのご注意

SGマーク付き製品そのものが故障したとしても、その品質について保証するものではありません。
あくまでも傷害などの身体的な損害(人的損害)について賠償する制度です。

製品の欠陥により事故が起きた場合

事故が起きたら、すぐに製品安全協会へ連絡してください。(原則として事故発生日から60日以内に連絡してください。)

事故の届出に必要な項目

①事故の原因となったSGマーク表示の製品(製品の名前、ロット番号、購入先、購入年月日)
②事故発生の状況(事故発生年月日、事故発生場所、事故発生状況)
③被害の状況(被害者の氏名、年齢、性別、住所、被害の状況)

製品安全協会
東京都台東区竜泉2-20-2
ミサワホームズ三ノ輪2階
TEL:03-5808-3300

よこ抱っこ ［生後10日から首がすわる乳児期（4ヵ月頃/体重8kg）まで］

※よこ抱っこは左右どちらの抱き方でもお使いいただけます。イラストはお子さまの頭が使用者の左胸にくる抱き方です。

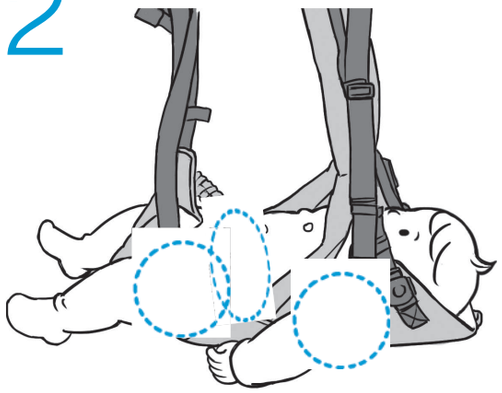
セーフティボードは必ず入れて使用してください。

1

お子さまを入れる前に ショルダーベルトの長さを調節します

セーフティボードをセットした後、左右のショルダーベルトを斜め掛けにして、ベルトの長さを確認します。
お子さまの頭が使用者の胸に、お子さまのおしりが使用者のウエストの位置にくるように調節してください。
※裏表紙の「ショルダーベルトの調節方法」をご覧ください。

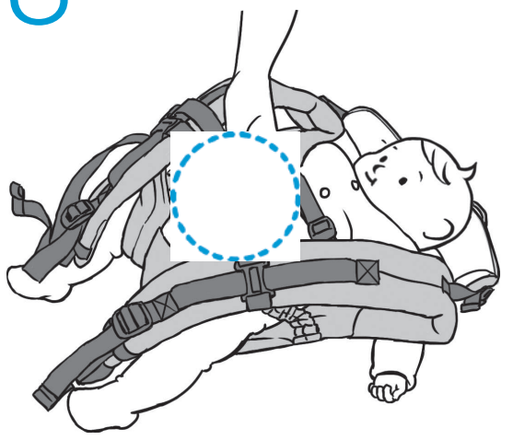
2



お子さまを乗せ セーフティベルトを留めます

お子さまの足を足ぐりに、腕を腕ぐりに通し、セーフティベルトを留めてから長さを調節します。
強く締めすぎないようにしてください。
（指三本入るくらいが目安です）

3



フィットベルトを留めます

4

お子さまを抱き上げます

ショルダーベルトを斜め掛けにします。
安全のために、必ずお子さまを置いた状態で肩に掛けてください。

よこ抱っこチェックリスト

- [ ] お子さまの頭が使用者の胸に、お子さまのおしりが使用者のウエストの位置にありますか？
- [ ] お子さまの腕や足が、使用者と抱っこひもで挟まれていませんか？
- [ ] セーフティボードが抱っこひもに入っていますか？
- [ ] セーフティベルトを留めていますか？

※よこ抱っこの際は、必ずお子さまを手で支えてください。

降ろし方

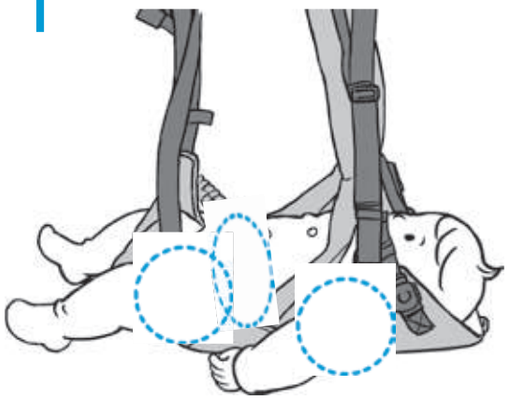
装着するときの手順を逆にして降ろします。

たて抱っこ対面① ［首がすわった乳児期（4ヵ月頃）～24ヵ月頃（体重13kg）まで］

お子さまを先に乗せてから装着する方法です。

お子さまをよりしっかり支えたい時は、セーフティボードを入れて使用してください。

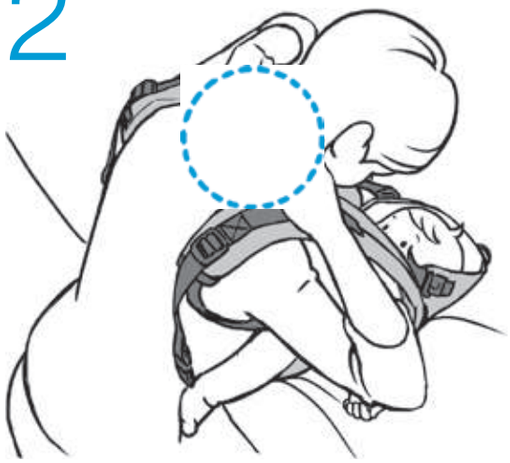
1



お子さまを乗せ セーフティベルトを留めます

お子さまの足を足ぐりに、腕を腕ぐりに通し、
セーフティベルトを留めてから長さを調節します。
強く締めすぎないようにしてください。
（指三本入るくらいが目安です）

2



フィットベルトを留めます

ショルダーベルトに腕を通してフィットベルトを背中で留めます。

3

ショルダーベルトと フィットベルトを調節します

お子さまのおしりを片手で持ち上げながら引くと、
調節しやすくなります。
お子さまのおでこにキスができるくらいの高さが目安です。
※裏表紙の「ショルダーベルトの調節方法」をご覧ください。

たて抱っこ対面チェックリスト

- [ ] セーフティベルトを留めていますか？
- [ ] フィットベルトを留めていますか？
- [ ] お子さまの顔に無理なく呼吸できるような スペースが確保できていますか？
- [ ] お子さまの位置はおでこにキスが できるくらいの高さになっていますか？

降ろし方

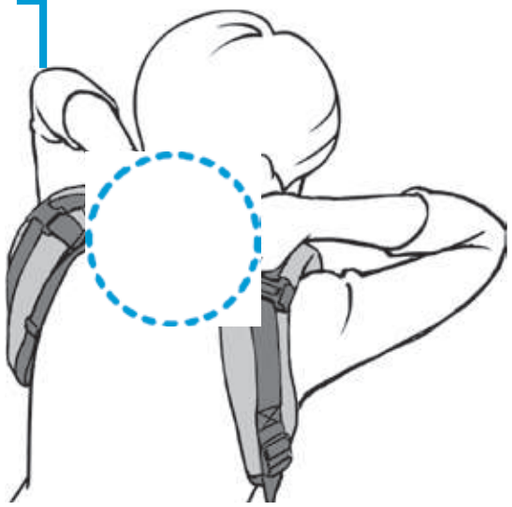
お子さまを手で支えながら、フィット
ベルトを外してゆっくりと降ろします。
**慣れていない方はベッドやソファな
どを使う事をおすすめします。**

たて抱っこ対面② ［首がすわった乳児期（4ヵ月頃）～24ヵ月頃（体重13kg）まで］

先に使用者の身体に装着してからお子さまを乗せる方法です。

お子さまをよりしっかり支えたい時は、セーフティボードを入れて使用してください。

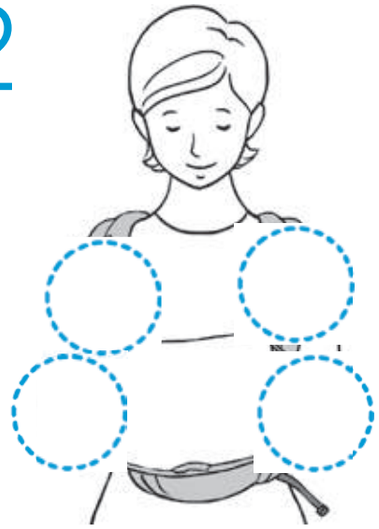
1



**お子さまを乗せない状態で
フィットベルトを留めます**

ショルダーベルトに両腕を通します。
フィットベルトを留め、最適な位置に調節します。
※裏表紙の「フィットベルトの調節方法」をご覧ください。

2



プロテクトサポートを外します

3

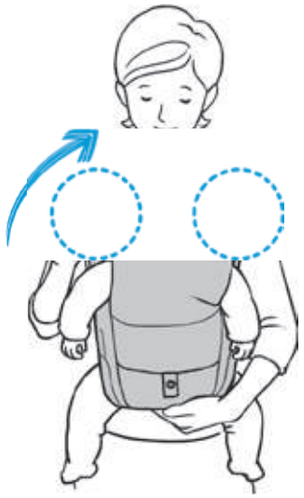
**片側の腕を
ショルダーベルトから抜きます**

4

お子さまを乗せます

お子さまの足を必ず足ぐりに通してください。

5



**肩から抜いた
ショルダーベルトを肩に掛け、
両方のプロテクトサポートを留めます**

プロテクトサポートはベルトで長さを調節できます。

6

セーフティベルトを留めます

セーフティベルトを留め、長さを調節します。
強く締めすぎないようにしてください。
（指三本入るくらいが目安です）

7

ショルダーベルトを調節します

お子さまのおしりを片手で持ち上げながら引くと、
調節しやすくなります。
お子さまのおでこにキスができるくらいの高さが目安です。
※裏表紙の「ショルダーベルトの調節方法」をご覧ください。

チェックリスト／降ろし方

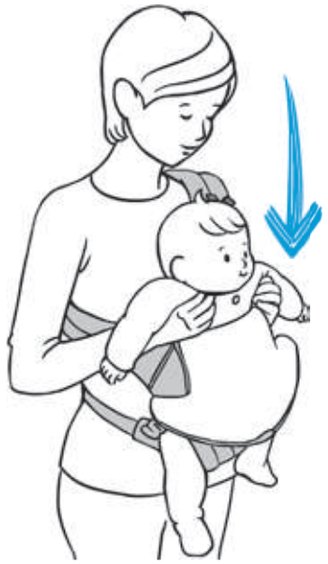
➡P7をご覧ください。

たて抱っこ前向き ［腰がすわった乳児期（7ヵ月頃）～24ヵ月頃（体重13kg）まで］

セーフティボードを使用しません。

※1-3 までは、たて抱っこ対面②と同様に行ってください。（P8）

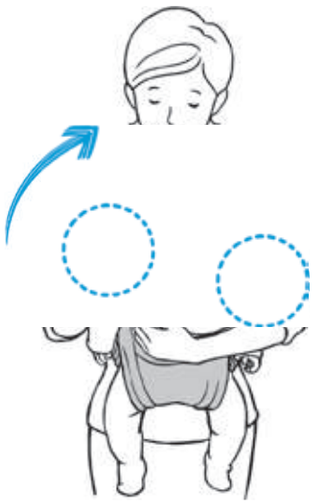
4



お子さまを乗せます

お子さまの足を必ず足ぐりに通してください。

5



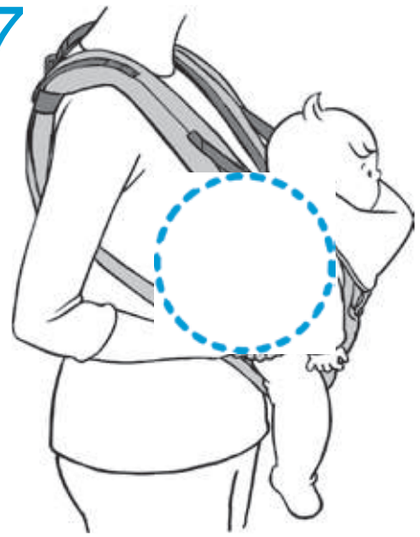
**肩から抜いた
ショルダーベルトを肩に掛け、
両方のプロテクトサポートを留めます**

お子様の顔が見えるように
プロテクトサポートのベルトの長さを調節してください。

6

フロントループを留めます

7



セーフティベルトを留めます

セーフティベルトを留め、長さを調節します。
強く締めすぎないようにしてください。
（指三本入るくらいが目安です）

8

ショルダーベルトを調節します

お子さまのおしりを片手で持ち上げながら引くと、
調節しやすくなります。
※裏表紙の「ショルダーベルトの調節方法」をご覧ください。

たて抱っこ前向きチェックリスト

- ☐ セーフティベルトを留めていますか？
- ☐ フィットベルトを留めていますか？
- ☐ お子さまの気道が確保されていますか？

降ろし方 たて抱っこ対面①と同じです。➡P7をご覧ください。

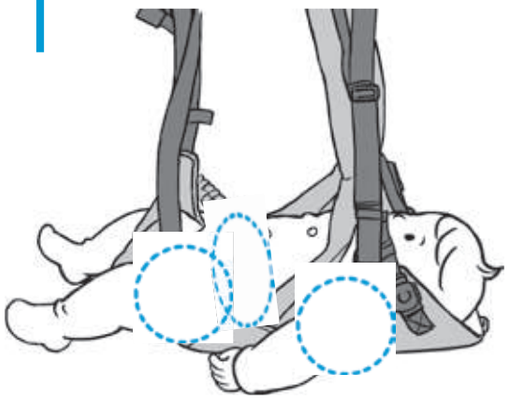
おんぶ［首がすわった乳児期（4ヵ月頃）～24ヵ月頃（体重13kg）まで］

お子さまをよりしっかり支えたい時は、セーフティボードを入れて使用してください。

装着前のチェック

お子さまの呼吸の妨げになるような服装（パーカー等）やヘアスタイルは避けてください。
髪の長い方はお子さまの顔にあたらないよう、できるだけ横で束ねる等工夫してください。

1



お子さまを乗せ セーフティベルトを留めます

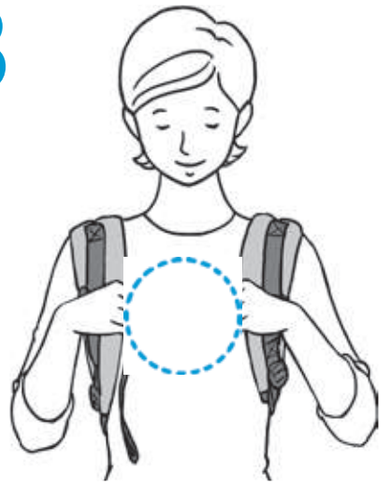
お子さまの足を足ぐりに、腕を腕ぐりに通し、
セーフティベルトを留めてから長さを調節します。
強く締めすぎないようにしてください。
（指三本入るくらいが目安です）

2

ショルダーベルトを掛けます

片腕ずつショルダーベルトを肩に掛けます。

3



フィットベルトを留めます

※裏表紙の「フィットベルトの調節方法」をご覧ください。

4

ショルダーベルトを調節します

お子さまのおしりを片手で持ち上げながら引くと、
調節しやすくなります。
お子さまがなるべく高い位置にくるように調節します。
※裏表紙の「ショルダーベルトの調節方法」をご覧ください。

おんぶチェックリスト

- [ ] お子さまに使用者の髪がかかったり、衣類で呼吸を妨げていませんか？
- [ ] セーフティベルトを留めていますか？
- [ ] フィットベルトを留めていますか？
- [ ] お子さまの位置が下がりすぎていませんか？

降ろし方

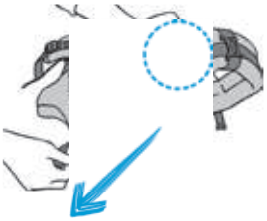
手順3から逆にしてゆっくりと降ろします。

ショルダーベルトの調節方法

※各ベルトの調節にも応用していただけます。

ショルダーベルトを締めます

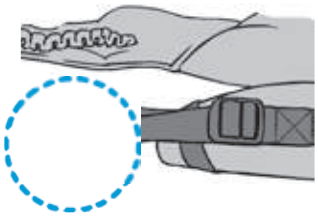
余っているベルトを
ショルダーベルトに沿うように
矢印の方向に引きます。



ショルダーベルトをゆるめます

アジャスターを立たせながら
ショルダーベルトを矢印の方向に
引いてください。

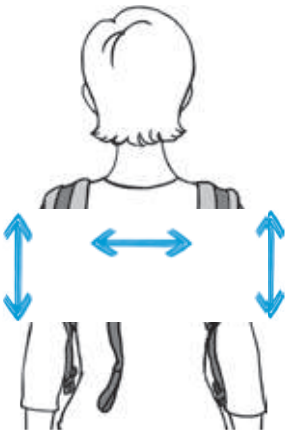
ゴムバンド

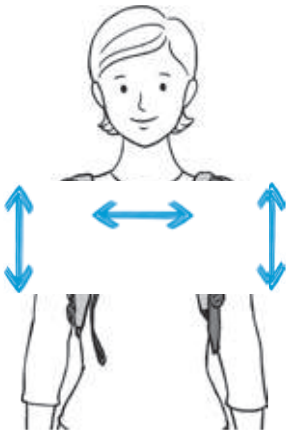


**余っている
ショルダーベルトをまとめます**

余っているショルダーベルトを
先端から丸めて、ゴムバンドで
まとめてください。

フィットベルトの調節方法





フィットベルトの位置

使用者の身体に合わせて高さと幅を調節できます。
イラストのように、肩甲骨の高さにベルトを調節すると
より快適にご使用いただけます。

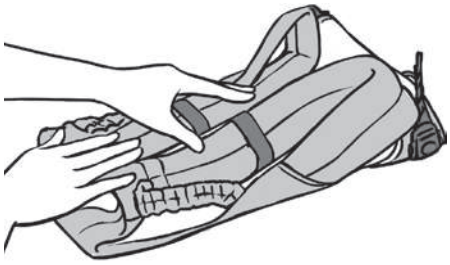
フィットベルトが留めづらい方へ

先にフィットベルトを留めてから
頭をくぐらせてください。

コンパクトにまとめる方法

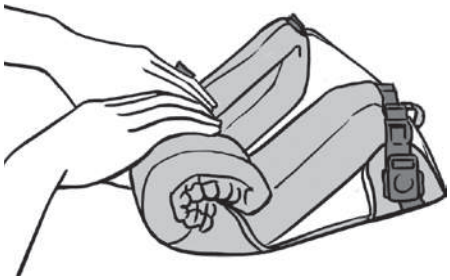
※セーフティボードは抜いてください。

1



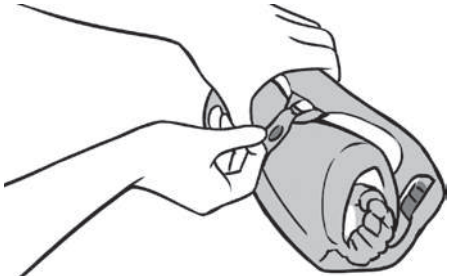
裏側を上にして左右のショルダーベルトを内側に折りたたみます。

2



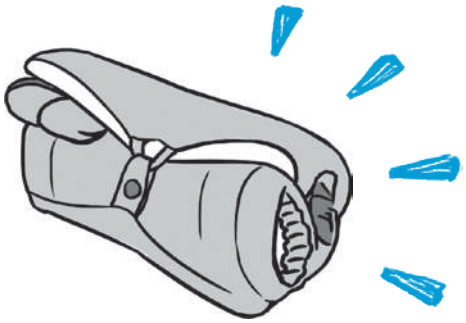
下から小さくクルクルと巻いていきます。

3



頭部先端についているループに、フロントループを通してホックで留めます。

4



完成です。

LUCKY industries

ラッキー工業株式会社

〒503-2423岐阜県揖斐郡池田町青柳83-8　TEL：0585-45-7425
SG登録工場 第31-001号
生産物賠償責任保険（PL保険）付

［ホームページアドレス］
https://lucky-industries.jp/

https://www.facebook.com/luckyindustry/　**@luckyjiyugaoka_official**

※安全基準等により、仕様が予告なしに変わることがあります。
製品には万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら上記までご連絡ください。

NP21-01
TL00053